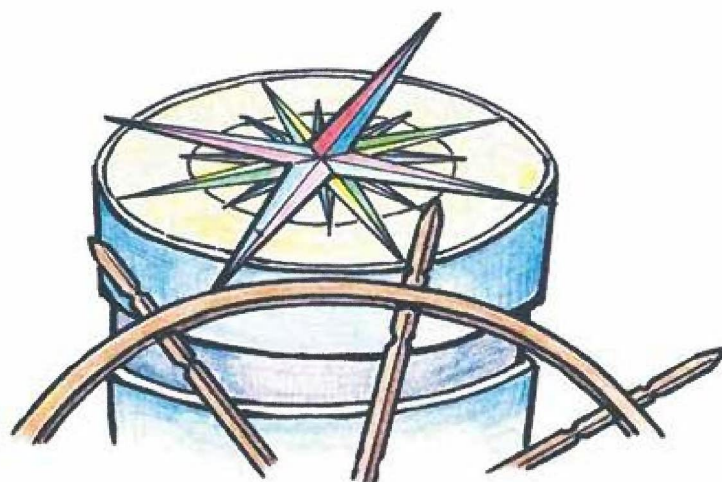


# 学びの羅針盤



教えることは

学ぶことである

学ぶことは

深く生きようと願うことである

その願いをこめ

子供らに幸あれ

県総合教育センター「教學一如」の碑から

鹿児島県教育委員会

氏名	
----	--

## 発刊に寄せて

平成27年3月に、学び続ける教師の手引書として「学びの羅針盤」が発刊され、これまで各学校の授業改善を目指した校内研修など様々な機会を活用されてきました。今般、学習指導要領の改訂等を踏まえ、新たな「学びの羅針盤」を発刊することといたしました。

本資料の活用に当たり、「日々の授業は、想いが込められ練り上げられた内容となっているか」、「学校の学力向上に関する取組は、年間を通した戦略的な計画に基づき、本気で児童生徒の学力を向上させるといふ強い意識の下、実施されているか」について、振り返っていただきたいと思えます。

児童生徒の学びの深まりや学力は、授業の質や学校全体の取組により大きく左右されます。だからこそ、個々の教職員、学校は、一人一人の児童生徒と学校全体の学力に真摯に向き合い、質の高い授業の実現や学校の組織的な取組の充実を目指さなければなりません。そのために、先達がこれまでに蓄積してきた知見を生かし、教職員一人一人が主体性や同僚性を発揮し、研鑽に努めていくことが求められているのです。

本資料を媒介として、教職員同士で授業改善の在り方を議論したり、校内の組織的な取組について検討したりする活動が充実することを期待いたします。

最後になりますが、発刊に際し、御協力いただいた鹿児島県学力向上検証改善委員会をはじめとする関係の皆様へ、厚く御礼申し上げます。

平成31年3月  
鹿児島県教育庁義務教育課

## I 児童生徒が身に付けられるようにしたい資質・能力 P 1

## II 主体的・対話的で深い学びを実現するために P 1-20

1	主体的・対話的で深い学び	P 1	5	学習の基盤となる学級集団	P 7
2	本校が育む児童生徒の姿	P 2	6	学習環境の整備	P 8
3	単元（題材）を意識した授業づくり	P 3	7	「ユニバーサルデザイン」と「特別支援教育」の二つの視点	P 9
4	質の高い授業の展開例	P 4	8	各教科の授業づくり	P 10-20
	・ 意図的な机間指導	P 5			
	・ 思考の流れに沿った板書	P 5			
	・ 思考の流れが分かるノート指導	P 6			

## III 学び続ける教職員であるために P 21-23

1	組織で取り組む学力向上のサイクル	P 21
2	本校の学力向上のサイクル	P 22
3	学力調査等の結果分析	P 23

## IV 家庭学習の充実を図るために P 24

1	学校と家庭で共に取り組む	P 24
	【参考】 かがしま家庭教育ナビ	
2	授業と連動した家庭学習	P 24
	・ 学習量と学習内容の確保	

## V かがしま学力向上支援Webシステムを活用するために P 25

## VI 学力向上に関する情報 P 25

- 鹿児島県総合教育センターWebサイト
- 国立教育政策研究所Webサイト
- その他

【協議の視点】を示したページがあります。校内研修や教科部会等で活用してみましょう。  
また、協議の結果や自分の考えを記入する欄を設けていますので、有効に活用しましょう。

